



おやま町議会



おやまの橋

鬼鹿毛の逸話を残す

「轡橋」

鮎沢川の新柴と桑木境に架かる轡橋。朱色の欄干がひととき目立っています。

橋の語れは、その昔小栗判官助重が、名馬「鬼鹿毛」に乗り、この橋に差し掛かった時だと言われています。当時、つり橋だった

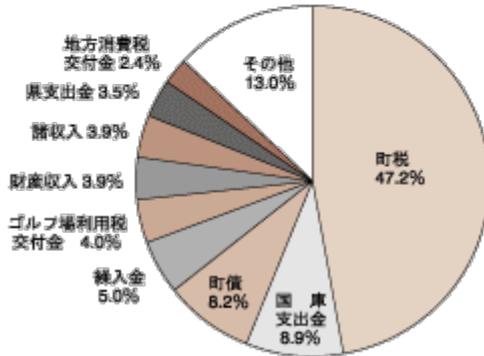
ため、荒れる馬の轡に手を掛け歩いて渡ったことから「轡橋」と名づけられたと言い伝えられています。現在架かる橋は、昭和61年に架けられたもので、長さ26m、幅7mの鉄筋コンクリート製の橋です。(絵:大眞正之)

No.96

9月定例会 平成14年度決算を認定	2~3
議員提案の意見書を採択	4~5
常任委員会の報告	6~7
一般質問 8人が登壇	8~15
議会行政視察の報告	16
編集後記	16

予算編成に生かせ！ 年度決算を原案どおり認定

一般会計 歳入 総額87億9,604万9,006円



9月9日、平成14年度一般会計外7会計の決算審議を行いました。一般会計は歳入総額87億9千604万9千6円、歳出総額85億4千457万8千334円でした。審議の結果、一般会計と国民健康保険特別会計は、賛成多数で、その他の会計は全員賛成で認定しました。

会計別決算の主な内容

平成14年度の一般会計決算は、歳入総額87億9千604万9千6円、歳出総額85億4千457万8千334円でした。

歳入歳出の差引残高は2億5千147万1千円ですが、この残高から道の駅関連事業などの15年度への充当財源を引いた1億6千299万1千円が純繰越金となりました。

また、歳出の予備費を除

いた執行率は、平成13年度の98・8%に対し、平成14年度は93・8%となっています。

歳入を見ると、町税は4千21万6千円の減で、これは5年連続の減少となっています。

増加した主なものは、繰入金1億6千299万9千円、61・5%増、町債（町の借

入）21%の増、国庫支出金（国からの補助金）8千222万3千円で11・8%の増、果支出金4千457万6千円で17・4%の増でした。

いっぽう減少した主なものは、譲収入5億8千10万3千円で63・1%の減、利子割交付金8千299万7千円で69・8%などでした。

一般会計 人件費は21億5千万円 全体の25・2%

つきに、歳出を目的別にみると、総務費が20・9%、土木費が17・9%、民生費が14・7%、衛生費12・3%、教育費11・1%、公債費8.5%などとなっています。

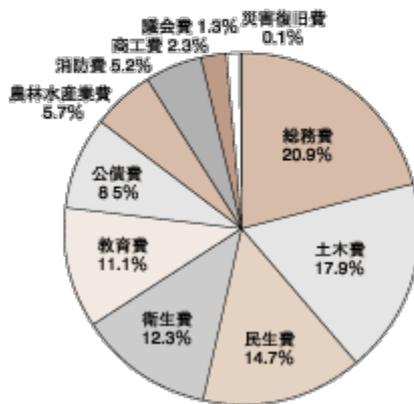
また、これを性質別に見ると、消費的経費が49億5千297万8千円で、全体の58%を占め、投資的経費は21億6千84万8千円で、25・3%でした。

事業名	金額
公有林整備事業	396万円
道の駅推進事業	5億3千454万円
合併処理浄化槽設置奨励事業	3千253万円
土地改良事業	5千179万円
中山間地域総合整備事業	7千803万円
林道整備事業	5千299万円
地藏堂川キャンプ場基本計画作成委託事業	80万円
須走観光案内所新築工事	2千400万円
町道整備事業	4億9千900万円
河川整備事業	3千700万円
小山公園敷地取得事業	7千833万円
茅沼団地外壁塗装修繕工事	2千400万円
住宅マスタープラン等策定委託事業	900万円
南藤曲園地建替事業	1億9千900万円

主な投資的事業

新年度の 平成14

一般会計 歳出 総額85億4,457万8,334円



決算審査意見書の要旨

監査委員

尾崎孝太郎
仲井 民夫

1 一般会計及び特別会計の歳入歳出決算について、決算に関する数値はいずれも正確であった。

2 予算及び会計経理事務は、議決の趣旨にそっておおむね適正に処理されていた。留意すべき事項として、収入未済額の解消のためにさまざまな対策がなされているが、財源確保及び負担の公平

の観点から、さらなる解消に務められたい。

3 財政力を判断する財政力指数は1.009となり普通交付税の不交付団体となった。企業誘致の実現並びに道の駅をはじめ、新事業の見直しなど、町勢発展のための諸施策が、実を結びつつあることは、財政にとって明るい要素である。

いっぽう、町の財政は、町税収入が前年度を下回り町債残高の増加に伴う公債費などをはじめとする義務

的経費が増加している。基金残高の現状・少子高齢化の推移などを勘案し、なおいっそうの財政努力が望まれる。

4 公有財産、基金などは、おおむね適正に管理されていた。留意事項として、未利用財産の実態を把握し、早期に有効活用策を講ずるとともに、利用の見込まれない財産については、早期に売却を含めた処分策をすすめること。

特別会計 国民健康保険1人あたりの医療費7番目の高額

◎国民健康保険特別会計決算

被保険者は6千945人で、人口2万1千67人に対し、32.1%の加入率でした。

一人あたりの医療費は、37万9千円で、県下74市町村中、7番目の高額でした。

つきに保険料の収納率を見ると、現年度分は96.47%でした。

◎育英奨学資金特別会計決算

貸付金の償還金は13人、歳出の貸付金は大学生6人に貸付けたものでした。

◎老人保健特別会計決算

歳出は、医療諸費が19億4千550万5千円で、全体の96.8%を占めました。

医療受給者数は、2千530人で13年度より87人減少し、医療費の支払い総件数は86件増え、6万2千244件でした。

◎下水道事業特別会計決算

歳出は、人件費と須走浄

化センターの維持管理費、浄化センター第2期建設工事の委託料などが主なものです。

◎土地取得特別会計決算

公共用地的先行取得と土地開発基金の管理を目的とした会計です。小山公園隣接地の償還金が主なものでした。

◎介護保険特別会計決算

加入状況は、65歳以上の第1号被保険者は4千196人、町の人口の19.2%でした。要介護、要支援認定者数は86人でした。

介護給付費の総額は7億3千280万2千円、1月平均6千144万円でした。

◎水道事業会計

水道使用料は1億8千65万4千円で、前年度より38万7千円の減収でした。建設事業では、北郷水系一色配水池配水管布設替工事を中心にすすめました。

収 入	205,268
収益的収支	
支 出	170,875
資本的収支	
収 入	52,696
支 出	195,157

会 計 別	歳 入	歳 出
国民健康保険	1,511,691	1,425,841
育英奨学資金	6,158	5,136
老人保健	2,010,279	2,009,701
下水道事業	405,928	394,182
土地取得	84,943	84,943
介護保険	829,472	808,050

耐震性貯水槽新設工事 1千500万円
小学校体育館耐震診断事業 300万円
北郷中学校体育館耐震診断事業 80万円
幼稚園整備事業 650万円
パークゴルフ場造成工事 1千500万円

第5回定例会

意見書3案を採択 国会や担当省庁に送付



用務員棟を改修し、来年度から3歳児保育がはじまる足柄幼稚園

9月の議会

平成15年第5回9月定例会が、9月2日から9月24日まで、会期を23日間とし開かれました。

今定例会には、町当局から、継続費精算報告書2件、字の区域変更1件、町道路線の認定1件、一般会計外5会計の補正予算6件、工事請負契約の締結3件、平成14年度決算の認定8件の21議案と議員提出の意見書の採択3件の合計24議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり承認可決することに決定しました。

一般会計

一般会計は総額で 84億528万円に

一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ、2億7千65万6千円を追加し、総額で84億528万9千円とすることを可決しました。

歳入の主なものは、地方特例交付金の今年度分の交付金額が決まったことにより85万2千円この交付金を減額しました。

増額した主なものは、東名跨道橋の耐震対策と、町道足柄三保線道路改良事業への国からの補助額が増えたため、土木費国庫補助金を55万円増額しました。

また、鉾須志彰徳山林会から須志中学校の改築にと1億円の寄付をいただいたため、教育費寄附金を増額しました。

いっぽう、歳出の減額した主なものは、広域行政組合決算にともなう繰越金の精算により、広域行政組合管理費を55万1千円減額しました。

つぎに、増額した主なものは、基本健康診査、肝炎ウイルス検診、各種がん検診の受診者数の見込みから健康づくり推進費を50万円増額しました。また、来年度から始まる足柄幼稚園の3歳児保育のための施設整備として幼稚園費を55万円増額しました。用務員棟を改修する予定です。

その他、町民いこいの施設整備事業費を7千200万円増額しました。これは、土地開発基金で購入した施設用地を一般会計で買い戻すためです。

町道路線を認定

県道沼津小山線一色交差点東側の市街化区域内の道路を、町道3937号線として認定することを全員賛成で可決しました。

土地所有者から寄付の申出があり、町道としての要件を満たしていることから認定するものです。

幅員は51m、延長は39.3mです。

字の区域変更

平成9年度から大胡田地区と新築地区で実施している、異常中山間地域総合整備事業の、ほ場整備事業が順調にすすみ、換地処分をすることになりました。そこで、ほ場整備をする前の地籍図(公図)に示されている大字、小字の境界が工事によって変わったことから、これらを新しい境界に変更することを全員賛成で可決しました。これは、地方自治法によって議会の議決案件となっています。

特別会計

平成14年度の決算の確定にともなう補正

◎国民健康保険特別会計

補正予算

予算総額に歳入歳出それぞれ21万6千円を追加し、15億5千20万6千円とすることを賛成多数で可決しました。保険料や交付金の増額、基金繰入金の減額、平成14年度決算で生じた繰越金の補正が主なものです。

◎老人保健特別会計

補正予算

予算総額に歳入歳出それぞれ2千300万4千円を追加し、20億2千10万4千円とすることを全員賛成で可決しました。主なものは、前年度一般会計からの繰入金

の精算分として2千10万2千円を返納する繰越金の補正です。

◎下水道事業特別会計

補正予算

予算総額に歳入歳出それぞれ26万5千円を追加し、2億9千73万6千円とすることを全員賛成で可決しました。陸上自衛隊富士学校へ下水道が繋がったことからその使用料を1千70万4千円増額するのが主なものです。

◎土地取得特別会計

補正予算

予算総額に歳入歳出それぞれ1億5千100万2千円を追加し、1億5千400万2千円とすることを全員賛成で可決しました。土地開発基金の現金の保有残高と今後の運用状況を見通してこの会計から一般会計へ8千万円繰出しするのが主なものです。平成14年度末で土地開発基金が管理している土地は4万4千713・11㎡、現金は5千80万9千100円です。

◎介護保険特別会計

補正予算

予算総額に歳入歳出それぞれ2千200万3千円を追加し、9億1千57万4千円とすることを全員賛成で可決しました。平成14年度決算の確定にともなう精算処理が主なものです。

工事請負

契約の締結

町道上野大御神線、町道打越用沢線、町道足柄三保線3路線の道路改良工事にともなう工事請負契約の締結については、いずれも全員賛成で可決しました。

意見書の採択

◎道路整備予算の確保に関する意見書

平成16年度予算でも必要な道路整備費を確保し、第2東名道路建設を促進し、生活に密着した道路整備もいっそう推進することなどを盛り込んだ意見書を全員賛成で採択。

◎教育基本法の改定ではなく、その理念の実現を求める意見書

中央教育審議会が答申した新教育基本法の制定ではなく、これまでの教育施策を総点検することが第一であるとした意見書を賛成多数で採択。

◎三島社会保険病院の存続と充実を求める意見書

三島社会保険病院が今後公的医療機関として、存続・充実できることを盛り込んだ意見書を賛成多数で採択。

採択した意見書は、それぞれ関係省庁や国会に提出しました。

ちよつと一服

富士スピードウェイの改修

みなさまのご理解とご支援のお陰をもちまして、順調に改修工事が進んでおります。

一般に、平地にある世界の他のサーキットと比べ、周囲の山、緑に囲まれた立地は、素晴らしいものがあります。

コース、グランドスタンド、パドック内のピットビル等を解体し、新築し直します。特にグランドスタンドの屋根は折鶴をイメージした日

後楽園のドーム球場を逆さまにした大きさの調整池が、今年3月と7月に2回完成し、9月中旬から、本コースの営業を中断し、本

本的设计の落ち着いた屋根となっており、周りの自然とマッチしたものとしました。外に目を向けますと、現

アルオーブンしますが、より多くの観客のみならずに来場いただき、地元のさらなる発展に貢献できればと願っています。今後とも、みなさまのご協力とご支援をお願いいたします。

常任委員会の報告



▲トモエ電機工業が取り組んでいるハイブリッドダンプカーを視察する総務委員

総務 職員の平均年齢は41歳 平均給与は33万5千円

◎平成15年度小山町一般会計補正予算(第2号)

Q 総務管理費の一般管理費が減額計上されていますが、役場職員の現在の平均年齢、平均勤続年数、平均賃金について

A 平成15年1月1日現在で、一般職の平均給与は33万5千800円、平均年齢は

41・01歳となっています。平均勤続年数については特に調査していませんが、平均年齢から推測して18年から19年と考えられます。

Q 退職金の内容について

A 小山町は静岡県市町村職員退職手当組合に加入して、一般管理費でまとめて支出しています。また、退職には一般退職や勤続退職などがありますが、それらの支出については、退職組合手当てに決められた率によって支給しています。

採決の結果、議案第34号は全員賛成で町長提案のとおり可決。

◎平成15年度小山町土地取得特別会計会計補正予算(第1号)

採決の結果、全員賛成で町長提案のとおり可決。

◎平成14年度小山町一般会計歳入歳出決算

採決の結果、全員賛成で町長提案のとおり可決。

◎平成14年度小山町土地取得特別会計歳入歳出決算

採決の結果、全員賛成で町長提案のとおり可決。

◎国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◎老人保健特別会計補正予算(第1号)

◎介護保険特別会計補正予算(第1号)

◎一般会計補正予算(第2号)

◎一般会計補正予算(第1号)

◎一般会計歳入歳出決算

採決の結果、全員賛成で町長提案のとおり可決。

採決の結果、全員賛成で町長提案のとおり可決。

採決の結果、全員賛成で町長提案のとおり可決。

文教厚生

国保税の徴収率アップに 納付相談など積極的に指導実施

当委員会に付託された案件は、9件で、これらの審査結果と、可決や認定に至るまでの主な質疑応答を報告します。

◎国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◎老人保健特別会計補正予算(第1号)

◎介護保険特別会計補正予算(第1号)

◎一般会計補正予算(第2号)

◎一般会計補正予算(第1号)

綱富士小山事業所において(ハイブリッドダンプカー)の視察と、南川沢原分譲地(旧北郷幼稚園跡地)と北郷幼稚園駐車場用地の現地視察を実施しました。



以上の町長提案の4議案は議会での提案説明がなされたため、質疑なく可決した。

次に、歳入(取入)を実際したかを、総合的に確認し、検証して、町予算が適切に、成果をあげたかを審査し、結果は、5案件を認定しました。認定までの主な質疑応答を報告します。

◎老人福祉費で配食サービスがあるが、町のひとり暮らしの老人は何人か。サービスの内容と個人負担は

A 15年4月1日現在、32人で配食サービスは38人で延べ3千88食。内容は800円相当の弁当を昼食に配食し、個人負担は250円。業者は公募により選定。

◎老人福祉費の紙おむつの給付の対象者と一人当たりの個人負担は

◎一般会計歳入歳出決算

常任委員会の報告



▲小山幼稚園を視察する文教厚生委員

A 紙おむつの必要な方で、介護度の出た方を対象に、6万6千円を限度に支給し何人負担はない。

Q チャイルドシートの補助金の実績はどうだったか

A 14年度は82件、13年度は59件12年度は20件に補助

◎国民健康保険特別会計歳入歳出決算

Q 当町の国保税は、県下での相対に位置するか。

14年度医療費のうち、一般被保険者についてはどうか

A 保険税の一人当たりの

額は、県下74市町村中9位、一世帯当たりでは31位。平成10年度と比較すると、かなり改善された。14年度の一般被保険者に対する医療費は、23位である。

Q 国保税の徴収率が低下しているが、どうするか。

A 年々低下傾向にあるが、県下74市町村では、15位と高い徴収率を誇る。未納者には、役場に来ていただき、納付相談に応じたり、指導を積極的に実施してきたが、今後も継続努力する。

◎育英奨学資金特別会計歳入歳出決算

◎老人保健特別会計歳入歳出決算

Q 法改正で70歳から74歳までは国保に属することに なったが、この方々は、老人保険と同じ扱いをされたか

A 昨年10月1日以降、70歳になられた方は74歳まではそのまま、国保に加入していただき、老人保健と同じ待遇で診療を受けることができます。

◎介護保険特別会計歳入歳出決算

9月定例会において、経済建設委員会に付託された案件は7案件です。

◎字の区域の変更について

土地の基盤整備を町内で進めています。この区画変更により、一枚の水田に2地区の字ができることがあることからこの字の変更をするものです。

◎町道路線の認定について

町長から町道として認定申請があり、認定基準にそって認めるので認定するものです。

◎小山町一般会計補正予算(第2号)

◎小山町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

いずれも当初予算に対し歳入、歳出を変更する必要があるため、その補正をするものです。

◎小山町一般会計歳入歳出決算

◎小山町下水道事業特別会計

経済建設

旧新宿学園の跡地4.4haに クライナガルデンの計画

計歳入歳出決算

◎小山町下水道事業会計決算

平成14年度の各会計の取入、支出の結果を審議しました。

審議で出た質問で、道路の新設により旧道路の取り扱いは、法により決められていますが、旧道路敷地で処分できる所は、近隣地主と協議し処理したいと答弁がありました。

緊急雇用事業としたハイキングコース整備事業について、網幹から下るハイキングコースの除伐と町有地の下刈です。

貴重な植物もあるので、心して事業を今後進めると答弁がありました。

富士山トイレ施設整備についての質問があり、パイオトイレを設置した。

パイオトイレには、パイオ式と燃焼式があるが、富士山トイレ研究会の報告か

この方式を採用したと答弁がありました。

クライナガルデン基本設計費が決算されている。

この内容は、との質問に、旧新宿学園跡地4.4haで、簡易宿泊施設を併設した農園を整備していくかと考えている。

今後さらに、煮つめていくとの答弁がありました。

以上、審査結果を記しましたが、いずれの議案も採決の結果、いずれも可決すべきものとして、決しました。



岩田 潤 泉

駿河小山駅前通りの防災壁に 壁画は描けないか



▲人通りが少なくなった駿河小山駅前通り

井 「商工連合会おやま」と
相談し、検討したい

- 1、三田山後に見る不可解な事象について
- 2、小山駅付近の活性化の方策について
- 3、目安箱設置について

- 三田山後はわが町の大切な山城。真の整備を望む。
- 1、重要な境界杭が多年放置されている。何故か。
- 2、傍らに砂利が大量に放置散乱している。何故か。
- 3、三田峠へ下るべくして道を誤ることの対策は。
- 4、自然環境保全特別地区内で、大切な樹木が10本切られてある。その管理を問う。
- 5、明神峠付近の大きなサンショウバラが消え去ったことその後の調査は。

- 6、足柄城址の世界一のサンショウバラの養育は。
- 小山駅付近の桜並木の復活と駅前の防災擁壁を崖面やイルミネーションで飾り、駅前活性化をはかることについて所見を問う。
- 7、目安箱のようなもの、または神奈川県知事宛の「わたしの手紙」制度のようなものを設けることについて町長の考えを問う。

町長答弁

- 1、調査したところ、富士山麓鉄道の杭とわかり、現在の所有者である富士急行側に、この杭の処理を依頼しました。
- 2、この砂利は、山中湖村で道標の整備をした時の残りである可能性があるとのこと、山中湖村に確認を依頼しました。
- 3、山中湖村と協議したところ、同村で設置した道標

に、三田峠方向の標を追加していただくよう依頼しました。

- 4、関係機関に問合せたとこる誰が切ったか不明であるとのことです。再発防止のため、森林管理者で啓発看板を掲出して注意を促します。
- 5、以前ご指摘を受け、関係者に確認しましたが、この確認はできず、また、土地所有者は、山北町とのことでした。
- 6、足柄峠周辺の清掃を委託している聖天堂の高橋氏に状況の確認をお願いして行きたい。
- 日本花の会調査員の調査結果を参考に、町の玄関口である駅の景観に配慮した手法を検討します。
- また、駅前擁壁への彩色等は今後、「商工連合会おやま」とも相談しながら検討したい。
- 7、町民のご意見・ご要望をお聴きすることは、町づくりの基本であるので、設置に向け、一番効果的な運用方法などを検討します。



加藤 宏和

各児童クラブの指導員の雇用 同一労働、同一賃金にできないか



▲今年からスタートした明倫小学校放課後児童クラブのみなさん

井 諸事情があつての運営で、**困**
答 難だが、研究していきたい

児童保育の事業の基盤は施設と指導員の問題です。特に、指導員の雇用に対する質的、内容面の向上が重要な課題であると考えます。1、運営は委託された父母会だが、各クラブの雇用が違い、疑問がある。その実

児童保育の事業の基盤は施設と指導員の問題です。特に、指導員の雇用に対する質的、内容面の向上が重要な課題であると考えます。1、運営は委託された父母会だが、各クラブの雇用が違い、疑問がある。その実

体の把握と、また指導員の同一労働、同一賃金が改善策と見なす。

町長答弁

1、内容や児童数などにより、指導員の労力等の負担は異なるなど、諸事情を含んだ運営です。むずかしさがありますが、今後よく研究します。

2、町独自の支援として、夏休みの期間のみ一時的に受け入れた場合の加算。ま

ことが指導員の待遇改善になるものだが所見を伺う。

3、「保育ママ」の基本は学童と違うが、本町では内容は同じに行っている。理解をする。だが補助金は違う、学童の事業として伺う。

4、国は「小規模への補助」「障害児受入れ」等予算化した。県にさらに拡充するよう町は働きかけが必要だが。

5、「新エンゼルプラン」整備目標等、どのような段階か伺う。

た、所得税が9万円未満である世帯に対しては、保育料の減免をしており、減免分を委託料に加算をしています。今後は、協議会を設置し、幅広い立場の方からご意見をいただきながら運営をしていきます。

3、10人未満のクラブは、保育ママの補助となりますが、内容につきましては放課後児童クラブと同じ運用です。

4、障害児については、できる限りの受け入れをし、同、県の補助の内容拡充についても機会をとらえ申し入れます。

5、現在の計画にもとづき放課後児童クラブを設置してきました。設置していない地区についても開設を進めます。新エンゼルプランは、国で次世代育成支援対策法が成立し、子育て支援計画の策定を義務付けるなど、さらに推進をはかることとしていきます。町は、17年度から新しい5か年計画を16年度中に策定するよう計画をしています。



栗野 博

低公害車を購入した場合 町営駐車場は無料にできないか



駿河小山駅裏の町営駐車場
◀ 昨年は延べ強台、一日平均48台の利用でした

井 低公害車を優先にした無料化
答 への可能性を検討する

1、アイドリング・ストップ条例の制定。近年自動車の交通量の増加や大型化は、窒素化合物による大気汚染や騒音といった公害を引き起こすばかりでなく、二酸化炭素の排出による地球温暖化の大きな要因ともなっています。環境への負荷の少ない循環型社会を築くことが緊急課題であると考え、その見解について。

町長答弁
1、静岡県生活環境の保全等に關する条例が制定されており、この中で「自動車等の駐車時の原動機の停止」を規定していますので、アイドリング・ストップを積極的に奨励します。

2、低公害車の導入に關し、公用車については、残念ながら導入されていませんが、国の補助制度も考えながら、低公害車化を今後、進めて行きたい。

2、公用車の環境対策の取り組みについて、(1)本庁にも中型バスや町内巡回バス等がありますが、除去装置の取り付け等、今後のように対策されるか。(2)公用車の低公害車は現在何台くらいあるのか。(3)これらの買い替えなどで低公害車への移行は考えているか。(4)町内の企業や町民が低公害車両購入や除去装置を設置する場合助成はできるのか。(5)低公害車を所有し

た場合、町営駐車場の無料使用はできるのか。

低公害車導入に対しての助成は、国において地方公共団体や民間事業者等への補助や自動車税の軽減する優遇税制があります。しかし、県下市町村で独自の補助金交付をしているところはまだまだありません。今後、国及び県の動向をみながら対応を考えていきます。

町営駐車場の無料化は、低公害車両の優先を含めた無料化の対応が可能か視野に入れ、検討していきたい。



武 伏 室

福祉に理解ある人を対象に ホームヘルパー養成の考えは



1、老人憩いの家（地域公民館）構想について
小山町が、平成12年に作成した「高齢者保険福祉計画」及び「介護保険事業計画」には、高齢者の方々が、家にとじこもってしまわないように、地域公民館を整備して、アイサービスセンター機能をもたせて、高齢者にふれあいの機会を多くし、介護予防に努めるとあるが、今後どのように整備を実施していくのか。

2、ホームヘルパー養成研修の推進について
老人憩いの家構想を実施していくには、ハード面の整備には多くの経費と時間が必要である。

ソフト面については、福祉

社ボランティアの方々にも協力をお願いしていけば、すぐにも実施可能と思われる。そのためには充実した施設運営の面からも、福祉に理解のある方々を対象にホームヘルパーの養成が必要と思うが、その考えは。

町長答弁

1、高齢化が進む中、いままです以上に地域福祉の向上が不可欠であり、地域高齢者生きがい支援事業の「ふれあい茶論」、要介護者への「友愛訪問」事業をさらに充実支援し、この事業が地域の自主活動、地域福祉方向上につながっていくよう努力します。

と共に、町内地区集会所施設を、高齢者及び障害を持つ方が身近なところで、行事、事業に安全に安心して使用できる、施設改善に取り組む地区に、補助制度の創設を検討していきます。

2、ホームヘルパーは、在宅介護サービスの中核をなす重要な立場にあると共に、高齢者福祉対策においても必要不可欠なものであり、高齢化が進む現在、ヘルパーの確保は重要と考えます。地域介護力向上にも養成が必要と考えております。

2級ヘルパーの養成講習会の開催については、介護保険事業計画で三年に一回行うとしており、実施方法について関係機関と協議し進めます。

井 在宅介護には必要不可欠
答 実施方法について協議する

● 一般質問 ●



池谷 洋子

井 答

いくつかの団体が取り組んでい
るので今後の状況を見て検討

刑法犯・特別法犯少年学歴別検挙補導状況(前年比)

学歴別(人) 罪種・法令別	学							有職少年 学歴別	無職少年
	平成13年	平成14年	小学生	中学生	高校生	大学生	その他		
平成13年	128	122	3	83	46	1	4	12	12
平成14年	110	109	2	43	36	1	4	11	10
凶悪犯	11	6	1	5			1	4	
刑組暴犯	12	7	1	3	1	2	1	2	
窃盗犯	78	77	2	38	31		5	11	
万引き	38	37	1	14	10		3	1	
オートバイ	8	8		3	9		1	3	
白転車	8	7		3	3		1	3	
その他	12	12	1	8	3		1	4	
知能犯									
風俗犯									
その他									
占有物横領	4	5		1	4			1	
盗品	4	5		1	4			1	
その他	5	8		3	3			4	
特別法犯									
麻薬物処理法	2							2	
覚せい剤取締法	1							1	
その他	3	2					2	1	

不良行為少年補導状況(前年比) ()内は女子内数

学歴別(人) 行為種別	学							有職少年 学歴別	無職少年
	平成13年	平成14年	小学生	中学生	高校生	大学生	その他		
平成13年	250	230	1	10	10	1	1	17	17
平成14年	255	215	1	10	10	1	1	15	14
飲酒	4	14						4	
喫煙	115	109						1	1
薬物乱用	1	1						1	1
粗暴行為	1	1						1	1
刃物等所持	4								
金品不正要求									
金品持出し									
性的いたずら									
暴走行為	6	4			4				2
家出	1								
無断外泊									
深夜はいかい	11	17						5	5
学	2	3							
不健全性行為	2								
不良交友	4	3			2	1			1
不健全娯楽									

(資料:平成14年度の犯罪と非行 舞殿場警察署)

地域パトロールの拡充・強化を
図ることについての考えは

町長答弁

1、(1)6月議会でご指摘と
言われた燃えるゴミの燃焼日
の回収について業務改善を
強く求める声があるが、
(2)前議会でご指摘議員が質問
したゴミ問題の懇談会を開
く予定はありますか。ある
としたら、いつ、どのよう
な形で行いますか。
2、(1)年配者と子供の交流
の場「ふれ合い体験講座」
などを検討は。
(2)警察官OBや民間警備会
社と連携し、学校の敷地
内、コンビニなど地域パト
ロールの拡充・強化は。
(3)不登校やいじめなどで悩
んでいる子供を支えるため
のスクールカウンセラーを
全小中学校に配置し、取り
組む考えは。

教育長答弁

地区懇談会を実施します。
子どもたちの、ふれあい
の場として、地域や関係団
体・学校と連携を図りなが
ら、より良い環境づくりを
目指し、積極的に推進をし
ていきます。青少年補導員
会をはじめ、いくつかの団
体等が取り組んでいますの
で、今後の状況を見ながら
検討します。
生徒の悩みや不安の相談
に対しては、平成10年度か
ら町内3中学校に「心の教
室相談員」を配置し、この
内平成14年度から北郷中学
校をスクールカウンセラー
に切り替え、さらに残る2
校についても、平成17年度
からスクールカウンセラー
に切り替える計画です。小
学校については、中学校の
スクールカウンセラーで対応
しながら、今後研究します。



池谷 良郎

都市計画税をいただき、 土地区画整備事業をすすめる考えは



▲たくさんの家が建ち並ぶ足柄駅前の区画整理地

井 必要であると考えながら、町民
答 の理解を得ながら研究する

1、森林養育に公費を。
森林の公的環境に与える効果は絶対である。

しかし、現在および近い将来の見通しは、所有者に与える経済的効果はマイナスである。故に、林の管理がおろそかになり、山が荒れることになる。これを公費で撫育し、その林には誰でも自由に出入りできるようにし小山町全体を、自然公園にすることによる波及効果は計り知れない。一石十鳥も二十鳥もの効果がある。

2、都市計画法に基づき、土地区画整備事業を、都市計画税をいただいで実施すべき。

小山町には市街化区域に

指定されていても、進入道や形状が整っていないことから開発がしにくく、無秩序に開発される。これを都市計画税をいただいで、魅力ある区画整理を行い、駅や商店街の活性化の指導とともに、小山町の活性化を図るべきである。

町長答弁

1、町では、森林整備計画を実施した個人及び林業組合等に対して補助していましたが、今後も林業組合等を通して、周知徹底を図って行きたい。

また、町内有志等が補助金の範囲内で受託し、森林整備の推進に努力していただき、県営事業として保安林の除伐や枝打等を行うことも可能です。

さらに県が事業主体となる、生活環境保全林整備事業等についても調査、研究

を進めます。

美しく恵み豊かな森林に抱かれた、魅力あふれる小山町を築く上で、議会森林・林業・林産物活性化促進議員連盟のみならずには特段のご理解を願いたい。

2、都市計画税については、総合的な街づくりを目的として、近隣市町では、既に導入し、都市計画事業等の建設費用に充てております。小山町では、現在まで導入しておりませんが、計画的な都市計画事業や土地区画整理事業の実現のため、必要な財源と考えております。

しかし、現在の厳しい経済状況下では、町民にさらなる税負担をして頂くことになりませんので、いろいろな議論が必要と考えています。

今後、都市計画事業等の洗い出しを行い、いろいろな角度から調査研究し、町民のご理解を得ながら、検討していきたいと考えています。



荻沢 建一



須川水系など豊かな水の 有効利用を図る手だては

井 食品製造業を中心に 企業の誘致をすすめていく

- 1、9月の県民だよりにも新エネルギーの活用として燃料電池の話が出ています。これに使う水素を一日42万トン出る須川湧水からとればよい、小山町には金の成る豊富な水があります。
- 2、富士学校は町にある大きな施設で、町には富士学校協力会もあるので、富士学校の購入する物品に小山町の商工業者が取り組みやすいように、商工会を通じて働きかけるべきでは。
- 3、町には富士山以外にも金時山、足柄峠、金時神社など観光資源がたくさんあるのに、案内看板としての機能が十分に生かされていない。観光協会と話し合い、観光の町にすべきである。
- 4、観光や公園、温泉に來た人たちに喜んでもらえる土産物や飲食店のある駅前みんなで協力すればできると思います。
- 5、平成17年春には30万人の観客がきます。道路のことを、今から考えましょう。
- 6、問題は心の教育です。

町長答弁

- 1、富士紡績跡地が日量3千トンの地下水が利用できることから、食品製造業を中心に企業誘致を進めます。
- 2、国と「東富士演習場使用に伴う関係市町村との行政に関する協定」の中で地元関係業者育成のため配慮されるように要請しています。特に須走地区では学校内の売店業者として出店していますが、さらに協力量をします。
- 3、観光とは、ことばだけでなく、地域の人々の心が伝わった活動と運動できる施設整備が大事だと思います。道の駅も、物を売るだけでなく、グリーンツーリズム等の農業政策等と結びつけた広域観光産業の発信基地の役割があるので、あらゆる機会を捉えて特色ある観光の振興を図って行きたい。
- 4、町も健康福祉会館のオープン等、それなりの努力をしていますが、地元から大胆な提案や企画があれば、関係者と協議を進める用意もあります。
- 5、大規模イベント開催時に予測される交通渋滞等の諸問題に対応するため、富士スピードウェイ連絡調整協議会（仮称）を設置し、対応していきます。
- 6、子どもの人格を尊重した中で、児童生徒と心を通わせ、基本的な生活習慣の身につけ、あいさつのできる子ども、体験活動の実践、道徳教育の充実等、日々の授業の中で、家庭と連携をとりながら進めています。

教育長答弁

